

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生化学系分野		消化器病態生化学特論Ⅱ				塩谷 昭子	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
消化器疾患に関する臨床研究および基礎研究を実践するために、消化器疾患の適切な診断法・治療法を学ぶ。							
授業到達目標							
(1) 研究課題となる疾患の病態・疫学を理解する。 (2) 研究課題となる疾患の診断・治療を理解する。 (3) 対象疾患の解明すべき問題点を明らかにする。 (4) 統計解析の手法を理解する。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	月1回	月	18:00-19:00	塩谷 昭子 仁科 惣治 松本 啓志	講義	[研究検討会]	抄読会, 研究カンファレンス (他科(臨床腫瘍科・消化器外科・微生物学・生化学等)と合同) [場所:本館棟6階カンファレンス室5]
2	毎週	火	17:00-19:00	仁科 惣治 松本 啓志	講義	[症例検討会]	消化器カンファレンス (内科・外科・放射線科・病理による) [場所:本館棟5階カンファレンス室3]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 ※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
カンファレンスで検討された消化器疾患について学び、研究の課題について指導を行う。							
教科書							
ISBN-9784315520620, 細胞の分子生物学(第6版), 中村桂子・松原謙一(監訳), 青山聖子 他(翻訳), ニュートンプレス, 2017							
参考書							
国内・欧米学会から発行されている月刊英文誌, 消化器病学会誌, 内視鏡学会誌, Gastroenterology, GUT, Gastrointestinal Endoscopy など							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 抄読会で取り上げる英文論文および関連英文論文についてPubMedで検索し, 2時間以上の予習を行い内容について理解しておく。 (2) 抄読会あるいは検討会で指定された事項について次回までに約30分の復習を行う。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し, 仮説立案, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
臨床研究の課題となる疾患のデータ収集を行う前に, 倫理委員会の申請書類の作成を行う。							